

1. 略歴

- 1986年 3月 東京大学文学部宗教学宗教学史学専門課程 卒業
1986年 4月 東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教学史学専攻修士課程 入学
1988年 3月 東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教学史学専攻修士課程 修了
1988年 4月 東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教学史学専攻博士課程 進学
1991年 9月 シカゴ大学大学院ディヴィニティ・スクール宗教史専攻留学（至1994年6月）
1995年 12月 東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教学史学専攻博士課程単位取得退学
1996年 1月 日本学術振興会特別研究員（至1998年12月）
2001年 4月 大正大学文学部国際文化学学科助教授
2006年 4月 大正大学文学部表現文化学学科教授
2010年 4月 大正大学文学部人文学科教授
2011年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教学史学専門分野准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

宗教学（理論研究・比較研究）、宗教と教育の関係、アメリカの宗教

宗教学の基礎でありながら、20世紀後半以降、方法として成立し難くなった「比較」に注目し、その観点から、理論研究を行うとともに、ケーススタディとして宗教と教育の関係やアメリカの諸宗教を分析している。

b 研究課題

宗教比較の方法、宗教史の記述について、学界ならびに一般社会に見られる問題とその背景・原因を洗い出し、具体的な対案を提示することを課題とする。個々の課題設定は以下の通りである。

(1) 比較理論の検討として、①対話というメタファーの功罪、②宗教分類概念の問題をとりあげる。

①「対話」（討議）は社会科学等では理論用語として多用されるが、宗教学では「宗教間対話」の意味で用いられることが多く、比較宗教研究もそのメタファーによりとらえられる傾向がある。社会科学系の「対話」概念と、宗教学の「対話」メタファーの異同を明らかにし、また、近年の宗教学内外の比較方法論争を参照することで、宗教学の比較に伴う固有の問題を考察し、宗教間対話モデルではない比較宗教のあり方を提示する。またその成果が、人類学などの隣接諸学にとってどのような意義をもちうるかについても論じる。

②「世界宗教」「民族宗教」の対概念をはじめ、宗教学で伝統的に用いられてきた宗教分類概念の妥当性を、昨今の批判理論に照らして検討する。特にマックス・ウェーバーの宗教社会学（「世界宗教の経済倫理」）の受容が、日本とアメリカの宗教学でどのように異なるかに焦点を当て、何がその違いをもたしたのか、それが今日の両国の学界・社会におけるマクロな宗教比較言説をどう規定しているかを調べる。

(2) 近現代社会の公教育において宗教がどう扱われてきたかに関する歴史的研究を行う。

ある国の公教育では宗教が排除される、他の国では宗教が取り込まれるという現象を、単に「宗教教育の有無」や「政教分離の有無」として見るのではなく、排除・吸収どちらの場合でもその前提として公権力により「宗教」が定義されているということに注目し、各国の教育制度と法令・教科書の中にその表れを探る。一般概念としての「宗教」のみならず、キリスト教、仏教といった各宗教に関する記述と、教育方法・思想や当該国の宗教・社会情勢の関係を調べる。対象国はイギリスとアメリカを中心とし、共同研究による10カ国比較の成果も取り入れる。

(3) (2)の研究成果を踏まえ、国内の公教育における宗教の描き方・教え方に関する問題点を指摘し、改善のための具体的な方策を示す。対象は中等教育から高等教育、社会人教育を含む。

c 主要業績

(1) 著書

単著、藤原聖子、『教科書の中の宗教』、岩波書店、2011.6

単著、藤原聖子、『世界の教科書でよむ〈宗教〉』、筑摩書房、2011.7

共著、藤原聖子、「宗教に現れるアメリカの特徴」 渡辺靖編『現代アメリカ』、有斐閣、2010.11

(2) 論文

藤原聖子、「対話」としての比較研究、「批判」としての比較研究—宗教学からの問題提起—、国立民族学博物館調査報告『人類学的比較再考』、283—307頁、2010.4

Satoko Fujiwara, "On Qualifying Religious Literacy: Recent Debates on Higher Education and Religious Studies in Japan," *Teaching Theology and Religion*, 13/3, pp.223-236, 2010.7

藤原聖子、「テキサス州の教科書論争と宗教の関係」『宗教と現代がわかる本 2011』、238-241頁、2011.3

藤原聖子、「グローバル化時代の宗教知識教育」、『宗教研究』、85/369、293-318頁、2011.9

Satoko Fujiwara, "Has Deconfessionalization Been Completed?: Some Reflections upon Quebec's Ethics and Religious Culture (ERC) Program," *Religion and Education*, 38/3, pp. 278-287, 2011.9

(3) 学会発表

国際、Satoko Fujiwara, "The Paradox of Religion Teaching," XXth Quinquennial World Congress of the International Association for the History of Religions, University of Toronto, 2010.8.17

国際、Satoko Fujiwara, "Has Deconfessionalization Been Completed?: Some Reflections upon Québec's ERC Program," XXth Quinquennial World Congress of the International Association for the History of Religions, University of Toronto, 2010.8.19

国内、藤原聖子、「宗教学における分類の問題と教育」、日本宗教学会、関西学院大学、2011.9.4

国際、Satoko Fujiwara, "Establishing Religion through Textbooks: The Paradox of Religion Teaching (Teaching about Religions) in Japan," Multidisciplinary Science Forum, the US JSPS Fellows Alumni Association, Western Michigan University, 2011.10.29

(4) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、藤原聖子、分担者(部局内に代表者あり)、北米の宗教研究の調査・分析「宗教概念ならびに宗教研究の普遍性と地域性の相関・相克に関する総合的研究」(代表者：池澤優)、2010～

文部科学省科学研究費補助金、藤原聖子、代表者 「ポスト多文化主義における公教育と宗教の関係」、2012～

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、大正大学、「宗教学特論」、2011.9～

(2) 学会

国際、International Association for the History of Religions、executive committee、2010.8～

国内、日本宗教学会、理事、2011.4～

(3) 日本学術会議、連携会員、2011.10～

(4) 文化庁宗務課「海外の宗教事情に関する調査」への調査協力(カナダ担当)、2009～2011